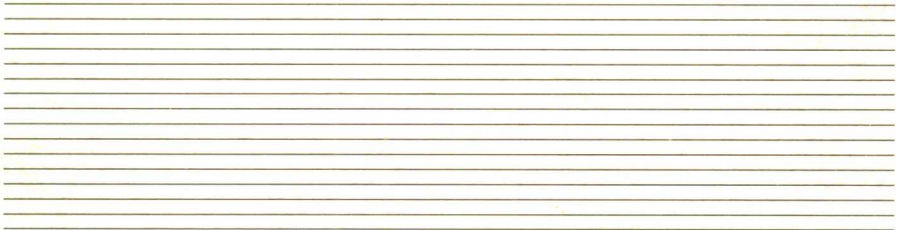




当代日本语学研究

——北原保雄博士业绩纪念论文集



主 编 胡 振 平



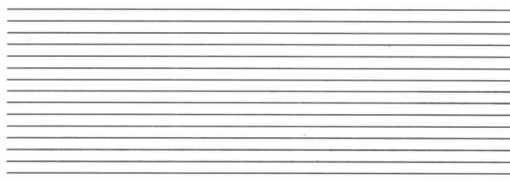
高等教育出版社
HIGHER EDUCATION PRESS

H36-53/
1

当代日本语学研究

——北原保雄博士业绩纪念论文集

主 编 胡 振 平



右H713



首都师范大学图书馆



21663185



高 等 教 育 出 版 社

HIGHER EDUCATION PRESS

RBA10 109

图书在版编目(CIP)数据

当代日本语学研究:北原保雄博士业绩纪念论文集/胡振平主编. —北京:高等教育出版社,2003 12

ISBN 7-04-013755-0

I. 当... II. 胡... III. 日语—研究 IV. H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2003)第 101483 号

出版发行 高等教育出版社
社 址 北京市西城区德外大街 4 号
邮政编码 100011
总 机 010-82028899

购书热线 010-64054588
免费咨询 800-810-0598
网 址 <http://www.hep.edu.cn>
<http://www.hep.com.cn>

经 销 新华书店北京发行所
印 刷 北京未来科学技术研究所
有限责任公司印刷厂

开 本 787×960 1/16
印 张 18.25
字 数 250 000

版 次 2003 年 12 月第 1 版
印 次 2003 年 12 月第 1 次印刷
定 价 31.10 元

本书如有缺页、倒页、脱页等质量问题,请到所购图书销售部门联系调换。

版权所有 侵权必究



北原保雄博士

北原保雄略年譜及び略業績(2003 年 6 月現在)

◎ 略歴

- 1936 年 8 月 新潟県柏崎市に生まれる
- 1960 年 3 月 東京教育大学(現筑波大学)文学部文学科卒業
- 1960 年 4 月 東京都公立高等学校教諭(→1967 年 3 月)
- 1964 年 4 月 東京教育大学大学院文学研究科日本文学専攻修士課程入学
- 1966 年 3 月 同上修了 文学修士取得
- 1966 年 4 月 東京教育大学大学院文学研究科日本文学専攻博士課程入学
- 1968 年 3 月 同上中退

1968 年 4 月 和光大学人文学部講師
 1971 年 4 月 和光大学人文学部助教授
 1974 年 4 月 筑波大学文芸・言語学系助教授
 1981 年 3 月 文学博士取得 (筑波大学)
 1984 年 9 月 筑波大学文芸・言語学系教授
 1990 年 4 月 筑波大学文芸・言語学系長 (→1993 年 3 月)
 1993 年 4 月 筑波大学付属図書館長 (→1997 年 3 月)
 1998 年 4 月 筑波大学学長 (→現在)

◎ 非常勤講師・集中講義等

東京外国語大学	目白学園女子短期大学
東京教育大学文学部	学習院大学文学部
聖心女子大学文学部	琉球大学教育学部
宇都宮大学教育学部	北海道教育大学札幌分校
新潟大学教育学部	山形大学教育学部
島根大学教育学部	群馬大学教育学部
台湾東呉大学日本文化研究所 (大学院)	北海道教育大学旭川分校
東北大学文学部・大学院文学研究科	国際基督教大学
大阪大学文学部・大学院文学研究科	名古屋大学文学部
新潟大学人文学部・大学院人文科学研究科	韓国高麗大学校人文大学
東京都立大学人文学部・大学院	山形大学大学院

◎ 中国への出張

1987 年 3 月 北京日本学研究センター講師 (→1987 年 7 月)
 1988 年 10 月 北京日本学研究センター第 1 回碩士答弁委員会委員
 1989 年 12 月 北京日本学研究センター第 2 回碩士答弁委員会委員
 1990 年 8 月 中国日語教育研究会講演 (ハルビン市黒龍江大学)
 1990 年 4 月 北京日本学研究センター協力委員会委員 (→1998 年 3 月)
 1990 年 11 月 北京日本学研究センター第 3 回碩士答弁委員会委員
 1992 年 12 月 北京日本学研究センター第 6 回碩士答弁委員会委員
 1993 年 5 月 中国日語教育研究会華西区学術研究会講演 (洛陽外国語学院)
 1993 年 8 月 日本語教育国際シンポジウム顧問委員会委員・講演 (西安交通大学)
 1996 年 12 月 北京日本学研究センター第 10 回碩士答弁委員会委員

- 1999 年 9 月 拠点大学方式学術交流セミナー（北京大学、清華大学、西安市）
 2000 年 2 月 張香山先生名誉博士称号授与式（釣魚台国賓館）
 2000 年 7 月 拠点大学方式学術交流セミナー（青島海洋大学、浙江大学）
 2000 年 8 月 中国全国大学日本語教育大会・「新大学日本語シリーズ教材」
 第 1 回編集会議（上海同済大学）
 2002 年 9 月 北京師範大学 100 周年慶祝大会（人民大会堂）・学長フォーラム
 （北京師範大学）

◎ 所属学会

国語学会（理事・副会長）、日本言語学会、日本語教育学会、訓点語学会、日本方言学会、筑波大学国語国文学会（元会長、名誉会員）

◎ 各種委員等

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 国語審議会委員 | 学術審議会専門委員 |
| 日本学術会議会員 | 大学設置・学校法人審議会委員 |
| 大学入試センター評議員 | 大学基準協会（理事・副会長） |
| 大学セミナーハウス評議員 | 文化審議会（副会長・国語分科会会長） |
| 科学技術・学術審議会専門委員 | 宇宙科学研究所評議員 |
| 国文学研究資料館評議員 | 国連大学協力会評議員等 |
| 国際交流基金北京日本学研究中心協力委員会委員 | |
| 国際交流基金日本語国際センター事業協力委員会委員 | |
| 高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所評議員 | |

◎ 主要編著書

- 1968 年 4 月 古本節用集六種研究並びに総索引 （共著） 風間書房
 1972 年 5 月 大蔵虎明本狂言集の研究 本文篇上 （共著） 表現社
 1973 年 2 月 きのはけふの物語研究及び総索引 笠間書院
 1973 年 7 月 大蔵虎明本狂言集の研究 本文篇中 （共著） 表現社
 1978 年 2 月 国語学研究法 （共著） 武蔵野書院
 1978 年 11 月 論集日本語学研究 9 敬語 有精堂出版
 1980 年 8 月 佐伯文法—形成過程とその特質— （共編） 三省堂
 1981 年 9 月 日本語の世界 6 日本語の文法 中央公論社
 1981 年 11 月 日本語助動詞の研究 大修館書店
 1981 年 12 月 日本文法事典 （共編） 有精堂出版

- 1982 年 1 月 日本語文法論術語索引 有精堂出版
- 1982 年 10 月 大蔵虎明本狂言集総索引 3 聾類・山伏類 (共編) 武蔵野書院
- 1983 年 2 月 狂言記の研究 (共著) 勉誠社
- 1983 年 5 月 大蔵虎明本狂言集総索引 5 女狂言之類 (共編) 武蔵野書院
- 1983 年 9 月 大蔵虎明本狂言集の研究 本文篇下 (共著) 表現社
- 1983 年 11 月 古語大辞典 (共編) 小学館
- 1984 年 4 月 文法的に考える—日本語の表現と文法— 大修館書店
- 1984 年 6 月 大蔵虎明本狂言集総索引 1 脇狂言之類 (共編) 武蔵野書院
- 1984 年 7 月 大蔵虎明本狂言集総索引 6 出家座頭類 (共編) 武蔵野書院
- 1984 年 10 月 日本語文法の焦点 教育出版
- 1985 年 2 月 続狂言記の研究 (共著) 勉誠社
- 1985 年 5 月 大蔵虎明本狂言集総索引 8 万集類 (共編) 武蔵野書院
- 1986 年 3 月 大蔵虎明本狂言集総索引 2 大名狂言類 (共編) 武蔵野書院
- 1986 年 4 月 少年少女ことわざ辞典 (監修) 小学館
- 1986 年 5 月 大蔵虎明本狂言集総索引 7 集狂言之類 (共編) 武蔵野書院
- 1986 年 6 月 和歌の鑑賞—万葉・古今・新古今— (共著) 教育出版
- 1986 年 10 月 全訳古語例解辞典 小学館
- 1986 年 11 月 日本の古典—名著への招待— 大修館書店
- 1987 年 2 月 狂言記拾遺の研究 (共著) 勉誠社
- 1988 年 5 月 日本語百科大事典 IV 文法 (2) 大修館書店
- 1989 年 3 月 講座日本語と日本語教育 4 日本語の文法・文体 (上) 明治書院
- 1989 年 4 月 反対語対照語辞典 (共編) 東京堂出版
- 1989 年 10 月 知らないうちに使っているうっかりミスのことば事典 (監修) 緒方出版
- 1989 年 10 月 大蔵虎明本狂言集総索引 4 鬼類小名類 (共編) 武蔵野書院
- 1989 年 11 月 全訳古語例解辞典 コンパクト版 小学館

- 1990年6月 延慶本平家物語 本文篇上・下 (共編) 勉誠社
- 1990年11月 日本語逆引き辞典 大修館書店
- 1991年7月 狂言六義全注 (共著) 勉誠社
- 1991年11月 古典にいざなう新古典文法 大修館書店
- 1992年3月 狂言記新注 (共著) 武蔵野書院
- 1992年12月 早引き国語辞典 (監修) 緒方出版
- 1993年4月 表現と理解のための中学文法 教育出版
- 1994年4月 グレード別最重要古文単語 (監修) 受験研究社
- 1994年7月 新日本古典文学大系 59 舞の本 (共著) 岩波書店
- 1994年10月 故事ことわざ辞典 (監修) 緒方出版
- 1995年3月 概説日本語 (編著) 朝倉書店
- 1995年4月 最新早引きカタカナ語辞典 (監修) 緒方出版
- 1995年9月 同音語同訓語使い分け辞典 (共編) 東京堂出版
- 1995年10月 日本語文法研究所大成 草野氏日本文法 全(共編) 勉誠社
- 1996年2月 カタカナ語使い分け辞典 (共編) 東京堂出版
- 1996年2月 延慶本平家物語 索引篇上・下 (共編) 勉誠社
- 1996年4月 表現文法の方法 大修館書店
- 1996年4月 日本語文法研究書大成 語法指南 (共編) 勉誠社
- 1997年2月 狂言記五十番の研究 (共著) 勉誠社
- 1997年12月 青葉は青いか—日本語を歩く— 大修館書店
- 1999年10月 ポケットプログレッシブ全訳古語例解辞典 小学館
- 1999年11月 日漢英対照日本地名速查辞典 (監修) 四川人民出版社
- 2000年12月 日本国語大辞典 (第2版) 全13巻 小学館 (→2002年1月)
- 2002年5月 新大学日本語シリーズ教材 全10冊 (編集顧問) 高等教育出版社
- 2002年10月 朝倉日本語講座 全10巻 (監修) 朝倉書店 現在5巻まで刊行
- 2002年12月 明鏡国語辞典 大修館書店
- 2003年5月 岩波日本語使い方考え方辞典 岩波書店 他に学術論文多数。

謝 辞

中国の日本語研究者の皆さんが私の筑波大学退官を記念して研究論文集を編んでくださることになった。ところが、私が学長になってしまい、いつまでも退官しない。予定が狂ってしまった。早く原稿を寄せておられた黒龍江大学の劉耀武教授など亡くなられてしまった。

この論文集の話が初めて出たのは7、8年も前のことである。現在、日本の立命館アジア太平洋大学にいる張麟声君が企画の話を持ち掛けてきたのが始まりである。その後、筑波大学に5年間助教授として在任した福建師範大学の林璋君が原稿依頼などを進めてくれた。そして、北京外国語大学の于日平君は企画の当初から刊行の最後まで執筆者と交渉、原稿集め、高等教育出版社との折衝など、一切の編集作業を進めてくれた。洛陽外国語学院の胡振平教授には、編集の代表者になってもらった。

今改めて調べ直してみると、私は、これまでに、漏れがあるような気がするが、少なくとも15回は訪中している。その最初は1987年3月から7月までの3か月間で、北京日本学研究中心において大学院修士課程と培訓班の授業を行うためだった。于日平、林璋、張麟声の三君はその時の大学院の1期生で、私の教え子にあたる。胡振平氏は、私がセンターに赴任する前の年に筑波大学の私のところに中国政府派遣の外国人研究者として来ていたが、私がいなくなれば筑波大学にいる意味がなくなるということで、一緒にセンターについてきた。中国では、私も、比較的時間に余裕があったので、思いきり4人の相手をした。その後のことを書いていけば切りがない。

私は本当に幸せ者だと思う。たくさんいる教え子は皆それぞれに成長して活躍している。それだけではない。中国の学界との長い交流の間に、中国を代表する大勢の日本語研究者の方々と知己になり、今般は寄稿していただいた。本書は現在の中国における日本語研究の最高水準を示しているものと確信する。困難な編集業務を成し遂げた于日平君と林璋君には心から感謝したい。また、採算を度外視して本書の刊行を快諾された高等教育出版社劉志鵬社長、外国語分社劉援社長、外国語分社祝大鳴副社長並びに編集を担当された同社の陳薇氏、李炎氏に感謝の意を表したい。

筑波大学学長 文学博士 北原保雄

2003年7月

答 谢 辞

中国的日语研究者为了纪念我从筑波大学退官，准备出版研究论文集。但是，我当了校长，一直没退官，因此原来的计划全乱了。很早就寄来了稿件的黑龙江大学的刘耀武教授在此期间不幸去世了。

早在七八年前就提出了出版纪念论文集的事。最初是现在在日本立命馆亚洲太平洋大学的张麟声提出的建议。之后，在筑波大学当了5年副教授的福建师范大学的林璋进行了征稿。北京外国语大学的于日平从初期的计划一直到最后的论文集出版，承担了和执笔者的联络、收集稿件、与高等教育出版社的联系等所有编辑出版的事宜。洛阳外国语学院胡振平教授担任了编委负责人。

如今，回顾往事，我至今至少访问过15次中国，也有可能更多。第一次是1987年3月至7月的3个月，在北京日本学研究中心教授硕士课程和教师培训班。于日平、林璋、张麟声三人当时是硕士班1期生，是我的学生。胡振平在我去中国之前，作为中国政府派遣的外国人研究员来到筑波大学的我这里，因为我要去中国，感到呆在筑波大学没有意义，所以随我一起来到了中心。在中国，由于我时间上比较空余，所以教授这4人的时间较多。要写起之后的事，话就长了。

我想，我真是个幸福的人。教过的很多学生现在都已经成长起来，活跃在各个地方。不仅如此，在和中国学界的长期交往中，和许多中国的日语研究者成为好友，他们都寄来了稿件。我相信，本论文集代表了在中国的日语研究的最高水平。衷心感谢完成了编辑出版重任的于日平和林璋。另外，对不计经济利益愉快地承诺出版本书的高等教育出版社的刘志鹏社长、外语分社的刘援社长、祝大明副社长以及担当编辑的该社的陈薇、李炎各位，表示我的谢意。

筑波大学校长 文学博士 北原保雄

2003年7月

(于日平译)

前 書

15、6年前に、私は恵まれて、中国政府派遣研究員の資格で、筑波大学文芸・言語学系において、日本語文法の研究をした。その時の指導教官が北原保雄先生だった。

北原先生の受け入れ許可をいただいて筑波大学に行ったのだが、実は北原先生ってどんな人なのか、全然知らなかったのであった。ただ研究業績が甚大で、著作がきわめて多いので、かなりの年配の人だと想像していた。初対面の時、「先生は60歳を過ぎた老大家だと思っていました」と言ったら、笑われたことを記憶している。その時先生はまだ40歳代の若手の教授だった。ドクターコースやマスターコースにおける授業、それは日本語文法や狂言など古典文学に関するものが中心だったが、とても高度で豊かな内容のものであり、造詣の深い大学者だなと思った。

一方、私より3、4歳しか年上でない上に、気さくなお人柄なので、一緒にお酒を飲んだりしながら、そのうちにいい友達になった。筑波大学には中国から毎年たくさんの学生が入学し、先生の指導を受けているし、先生は北京日本学研センターにおいても短期(3か月)専門家として講義をしたり、度々中国を訪れたりしているから、教え子や友人を多数持っている。中国の有名な教授、宋文軍、王宏、劉耀武、李芒、周炎輝、李徳、嚴安生などの諸氏は、みな北原先生の仲のいい友だちである。

1998年1月31日の『朝日新聞』の記事で北原先生が筑波大学の学長となることを知ったのであるが、それから4年、2年と二期連任で、退官記念論文集の出版が延びに延ばされたわけである。

この記念論文集の出版に際して、3、4年前からずっと原稿依頼、編集などに没頭してきた于日平、林璋両君の尽力と高等教育出版社の祝大鳴氏のご協力に対して、衷心から御礼申し上げる次第である。

日本国日本語教育学会評議員

中国日語教学研究会顧問

洛陽外国語学院教授

胡振平

2003年8月於古都洛陽

前 言

十五六年前，我有幸以政府派遣研究员身份到日本筑波大学文艺言语学系从事日本语法研究，当时我的指导教官就是北原保雄先生。

我是得到北原先生的应允才得以到筑波大学去的，其实，北原为何许人也我全然不知。只是就其研究业绩宏伟、著作颇丰，想当然地认为是位年纪不轻的长者。还记得，初次见面时我说“原以为是位年逾花甲的老学究呢”，两个人笑个不停。当年，北原先生还是40多岁的年轻教授。他承担着硕士生博士生的课程，主要从事日语语法以及狂言等日本古典文学方面的研究，内容高深莫测，觉得他是一位颇有造诣的大学者。

然而，由于年龄只比我大三四岁，而且性格平易近人，我们一起喝酒聊天，很快就成了莫逆之交。每年都有许多中国学生到筑波去接受北原先生的指导，先生还在北京日本学研究中心短期讲学（3个月左右），并曾多次访问中国。所以，他有很多中国学生和友人，知名教授宋文军、王宏、刘耀武、李芒、周炎辉、李德、严安生等诸位，都是北原先生要好的朋友。

从1998年1月31日的《朝日新闻》上得知，北原保雄先生就任筑波大学校长，并且4年、2年连任两届，使这本“退官纪念论文集”一拖再拖，拖至今日才与大家见面。

北京外国语大学的于日平、福建师范大学的林璋以及高等教育出版社的祝大鸣等同志，从三四年前开始为文集约稿、编辑埋头工作，在此文集出版之际，谨向他们致以衷心谢忱。

日本国日本語教育学会评议员

中国日语教学研究会顾问

洛阳外国语学院教授

胡振平

2003年8月于古都洛阳

一位为中国日语教育做出巨大贡献的日本教授

今年是中日邦交正常化 31 周年，中日两国纷纷举办各种活动表示庆祝。中日两国作为邻国有着悠久而特殊的交往历史，其中有悲有欢，有阴有晴。回顾两国千余年的交流史，不乏有志之士为中日友好添砖加瓦、尽心竭力。历史为我们留下了许多令人难忘的人物，留下了许多令人感动的故事。历史如此，今天的现实也是如此。为中国日语教育做出巨大贡献的日本筑波大学校长北原保雄教授就是这样一位人物。

北原保雄教授在语言学、日语学、日语教育等方面，学富五车，著述等身，堪称斯界泰斗。北原保雄教授蝉联筑波大学校长，致力于日本的高教改革，使得这所先后出现两位诺贝尔奖获得者的著名综合学府在教学改革上走在了前头，校长的功绩有口皆碑。北原保雄教授还在许多学术机构中担任重要职务，在日本各界有着广泛的影响。

北原保雄教授多年来一直致力于中日友好事业，无论在日本还是在中国，无论是对访问学者、留学生还是对同行、后晚，他永远是鼎力支持、热情指导、积极培养、无私帮助。他治学谨严要求严格，但又为人谦和平易近人。中国高等院校中直接受教于北原教授的不在少数，间接得益于北原教授的更是数不胜数。

2000 年春，我们策划了《新大学日语》系列教材的编写出版工作。这套教材属于“普通高等教育十五国家级规划教材”，无论是教学思想、具体内容，还是编排设计、出版印制，都必须反映新世纪的特点，必须显示出最新最高的水平。为了确保教材的质量，我们准备请一位权威人士出任日方总顾问。当我们商诸北原保雄教授时，他欣然允诺。他的学校管理工作、学术研究工作、类书编纂工作，本已十分繁忙。但是，对于《新大学日语》的编写工作，他非常重视，非常投入。他不但组织了几位知名教授参加具体审读修改的工作，还亲自为教材撰写课文，亲自主持每次的顾问、总主编、总策划联席会议。北原保雄教授对我国日语教育事业的关心和支持，又一次深深地感动了我们。

现在《新大学日语》（共 10 册）业已全部出齐。不仅得到国内广大师生的高度评价，也在日本产生了很大的影响。

就在《新大学日语》的最后一册发行问世的时候，我们得知国内日语教师，主要是北原保雄教授的朋友和学生，撰写了一批论文，准备集结出版，藉以表示对即将从筑波大学退休的北原教授的敬意和谢意。对于此举，我们全力支持，并借

此机会表示我们对北原保雄教授的衷心的感谢。祝愿北原保雄教授健康长寿，永葆雄风！

《新大学日语》中方顾问

西安交通大学教授

日本广岛女子大学教授

顾明耀

《新大学日语》总主编

高等学校大学外语教学指导委员会副主任委员

华中科技大学教授

陈俊森

《新大学日语》总策划

教育部高等教育出版社编审

外语分社副社长

祝大鸣

2003年9月22日

目 录

北原保雄博士年譜	1
答謝辭	6
前言	8
一位为中国日语教育做出巨大贡献的日本教授	10

日本語の構造原理についての覚え書	劉耀武 1
------------------------	-------

日 本 語 の 研 究

试论日语并列复句的陈述方式	王诗荣 周炎辉 7
---------------------	-----------

「ヨウニ」從属節についての一考察 ——様態修飾、目的・希望、思考・伝達内容の用法を中心に—— ...	于日平 15
---	--------

关于被动句与文体的几个问题	张麟声 31
---------------------	--------

複合助詞「にしては」の意味と用法 ——名詞句（名詞句＋にしては）を中心に——	馬小兵 41
---	--------

人間である主体を限定する「で」	劉麗華 51
-----------------------	--------

日语终助词“よ”的用法与语调	夏菊芬 61
----------------------	--------

“XハYガZ”句和“S,S'VP”句考察 ——格成分的主题化及其制约条件——	王克西 71
---	--------

「だろうか」と「のではないか」の認識性について	張 興 91
-------------------------------	--------

日本語表現の研究

日本語の発話理解への一考察 徐昌華 104

「婉曲表現」について 徐萍飛 112

中日対照研究

日语“夕”与汉语“了”的对应关系 王 宏 126

日本語研究史料としての中国資料 蔣垂東 138

日本料理名の中国語訳について 彭広陸 156

中日同源成語・諺の形式構造について 馮 峰 173

日本語の「も」と中国語の「也」の対照研究 蔡淑英 184

汉语量词“个”与日语量词“つ”、“個”的对比分析 翟东娜 邹 璟 191

日本文学の研究

山上忆良の文学与创新
——「甑には蜘蛛の巣かきて」考—— 马 骏 206

その他の研究

语法研究的多维视野 胡振平 216

语法研究和语言政策 林 璋 223

コーパス言語学から見た日本語研究 徐一平 237

多言語データベースの構築と利用研究 ——日本語と中国語の場合——	曹大峰 252
附录 执笔者一览表	272
后记	273